

水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課
政策目的	水産業経営の強化	
政策目標	資源増養殖目標	30-2
事業実施主体	ヤマ源水産ノリ養殖漁業協業体	
実施地区名	姫路市家島町坊勢	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	平成30年度	令和3年度
交付金額	45,705千円	
事業計画の内容	大型ノリ自動乾燥機を導入することにより、生産性の向上と生産経費の削減を図ることで経営体質の強化する。近年、高齢化が進むなか、本施設の導入により、労働環境の改善が図られる。整備内容:大型ノリ自動乾燥機(20連)	
評価	成果目標	ノリ養殖関連施設整備による収入の向上
	現状値	(令和3年度末現在 聞き取りによる) 84,942,250円
	目標値	(令和3年度) 106,971,992円
	(1)現状値の説明	計画と現状値の比較を行った結果、大型ノリ自動乾燥機の導入により、導入前と比較して生産量は減少しているが、省力化の効果は発現している。
	(2)地域への経済効果(ハード事業のみ)	目標に対して現状値が79.4%に留まったが、当該施設を整備することにより生産量の増大を図る計画としており、計画が達成されれば、ノリ養殖業が基幹産業である当該地区の地域経済への活性化に寄与される。
	(3)所見	令和元年漁期では目標を達成していたが、令和3年度は極端な栄養塩不足により、計画を上回る速さで色落ちが発生したことで目標が達成できなかった。水揚げ金額は減少したが、省力化により経費の抑制が図られ、ノリ養殖漁業の経営体質強化が図られた。
(4)評価機関への意見等	令和元年漁期では目標を達成していたことから、通常栄養塩であれば、計画は達成可能である。	
今後の改善方向等に関する分析	燃油の高騰や漁場環境悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから、より一層効率的な生産に努めながら、引き続き適切に活用していく。	

水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課	
政策目的	水産業経営の強化		
政策目標	資源増養殖目標	30-3	
事業実施主体	谷端水産ノリ養殖漁業協業体		
実施地区名	姫路市家島町家島		
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度	
	平成30年度	令和3年度	
交付金額	30,888千円		
事業計画の内容	大型ノリ自動乾燥機を導入することにより、生産性の向上と生産経費の削減を図ることで経営体質の強化する。近年、高齢化が進むなか、本施設の導入により、労働環境の改善が図られる。整備内容:大型ノリ自動乾燥機(16連)、付属機器(1式)		
評価	成果目標	ノリ養殖関連施設整備による収入の向上	
	現状値	(令和3年度末現在 聞き取りによる)	17,617,204円
	目標値	(令和3年度)	50,467,728円
	(1)現状値の説明	計画と現状値の比較を行った結果、大型ノリ自動乾燥機の導入により、導入前と比較して生産量は減少しているが、省力化の効果は発現している。	
	(2)地域への経済効果(ハード事業のみ)	目標に対して現状値が34.9%に留まったが、当該施設を整備することにより生産量の増大を図る計画としており、計画が達成されれば、ノリ養殖業が基幹産業である当該地区の地域経済への活性化に寄与される。	
	(3)所見	令和元年漁期では目標を達成していたが、令和3年度は極端な栄養塩不足により、計画を上回る速さで色落ちが発生したことで目標が達成できなかった。水揚げ金額は減少したが、省力化により経費の抑制が図られ、ノリ養殖漁業の経営体質強化が図られた。	
(4)評価機関への意見等	令和元年漁期では目標を達成していたことから、通常の栄養塩であれば、計画は達成可能である。		
今後の改善方向等に関する分析	燃油の高騰や漁場環境悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから、より一層効率的な生産に努めながら、引き続き適切に活用していく。		

水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課	
政策目的		水産業経営の強化	
政策目標		資源増養殖目標	30-4
事業実施主体		五色水産ノリ養殖漁業協業体	
実施地区名		鳥飼	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成30年度	令和3年度
交付金額		30,000,000円	
事業計画の内容		大型ノリ自動乾燥機1基 周辺機器1式	
評価	成果目標	生産性向上に伴う所得の向上	
	現状値	(令和3年度末時点, 聞き取りによる) 20,150,014円	
	目標値	(令和3年度) 16,480,000円	
	(1) 現状値の説明	別紙のとおり、ノリ生産額について、計画時と現状値の比較を行った結果、大型ノリ自動乾燥機の導入により、導入前と比較し生産効率が向上し、生産力向上効果が発現している。	
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	大型ノリ自動乾燥機の導入により、水揚げ金額が122.3%の増となり、生産コストが削減され、ノリ養殖業が地域の基幹産業である当該地区の地域経済の活性化にも寄与した。	
	(3) 所見	目標が達成され、ノリ養殖漁業の経営体質改善が図られた。	
(4) 評価機関への意見等	成果目標を達成しており、適正に運営している。		
今後の改善方向等に関する分析		燃油高騰や漁場環境の悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから導入機器を活用し経営の効率化に努める。	

水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課	
政策目的	水産業経営の強化		
政策目標	資源増養殖目標	30-5	
事業実施主体	橘水産ノリ養殖漁業協業体		
実施地区名	姫路市家島町家島		
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度	
	平成30年度	令和3年度	
交付金額	41,758千円		
事業計画の内容	大型ノリ自動乾燥機を導入することにより、生産性の向上と生産経費の削減を図ることで経営体質の強化する。近年、高齢化が進むなか、本施設の導入により、労働環境の改善が図られる。整備内容:大型ノリ自動乾燥機(20連)、付属機器(1式)		
評価	成果目標	ノリ養殖関連施設整備による収入の向上	
	現状値	(令和3年度末現在 聞き取りによる)	19,113,242円
	目標値	(令和3年度)	48,858,422円
	(1)現状値の説明	計画と現状値の比較を行った結果、大型ノリ自動乾燥機の導入により、導入前と比較して生産量は減少しているが、省力化の効果は発現している。	
	(2)地域への経済効果(ハード事業のみ)	目標に対して現状値が39.1%に留まったが、当該施設を整備することにより生産量の増大を図る計画としており、計画が達成されれば、ノリ養殖業が基幹産業である当該地区の地域経済への活性化に寄与される。	
	(3)所見	令和元年漁期では目標を達成していたが、令和3年度は極端な栄養塩不足により、計画を上回る速さで色落ちが発生したことで目標が達成できなかった。水揚げ金額は減少したが、省力化により経費の抑制が図られ、ノリ養殖漁業の経営体質強化が図られた。	
(4)評価機関への意見等	令和元年漁期では目標を達成していたことから、通常の栄養塩であれば、計画は達成可能である。		
今後の改善方向等に関する分析	燃油の高騰や漁場環境悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから、より一層効率的な生産に努めながら、引き続き適切に活用していく。		

水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課
政策目的	水産業経営の強化	
政策目標	資源増養殖目標	30-6
事業実施主体	ヤマ武水産ノリ養殖漁業協業体	
実施地区名	姫路市家島町坊勢	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	平成30年度	令和3年度
交付金額	3,207千円	
事業計画の内容	<p>活性タンクを新設することで刈取可能容量が増大し、悪天候時の刈残しによる原藻の流出、過剰な詰込による品質低下等が軽減され、ノリ生産に係る生産性の向上を図る計画となっている。(30トン型活性タンク1台)</p>	
評価	成果目標	生産金額の向上
	現状値	(令和3年度末現在 聞き取りによる) 45,065,637円
	目標値	(令和3年度) 60,591,514円
	(1)現状値の説明	計画と現状値の比較を行った結果、ノリ活性タンクの導入により、導入前と比較して生産額は大幅に減少しているが、計画していた悪天候の日数が4日間あったことから、計画に近い効果が発現された。
	(2)地域への経済効果(ハード事のみ)	目標に対して現状値が74.4%に留まったが、当該施設を整備することにより生産量の増大を図る計画としており、計画が達成されれば、ノリ養殖業が基幹産業である当該地区の地域経済への活性化に寄与される。
	(3)所見	令和元年漁期では目標を達成していたが、令和3年度は極端な栄養塩不足により、計画を上回る速さで色落ちが発生したことで目標が達成できなかった。水揚げ金額は減少したが、悪天候の日数が4日間あり、事前に刈込ができたことにより、ノリ養殖漁業の経営体質強化が図られた。
(4)評価機関への意見等	令和元年漁期では目標を達成していたことから、通常の栄養塩であれば、計画は達成可能である。	
今後の改善方向等に関する分析	<p>燃油の高騰や漁場環境悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから、より一層効率的な生産に努めながら、引き続き適切に活用していく。</p>	

水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課	
政策目的		水産業経営の強化	
政策目標		資源増養殖目標	30-7
事業実施主体		中野水産ノリ養殖漁業協業体	
実施地区名		塩田	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成30年度	令和3年度
交付金額		42,390,000円	
事業計画の内容		大型ノリ自動乾燥機1基 周辺機器1式	
評価	成果目標	漁業所得の向上	
	現状値	(令和3年度末時点, 聞き取りによる)	77,983,321円
	目標値	(令和3年度)	79,600,000円
	(1) 現状値の説明	別紙のとおり、資材費など経費削減されたが、水温低下が遅く漁期が短くなったこともあり、ノリの生産金額が計画どおり伸びず、漁業所得が目標値に少し届かなかった。	
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	目標の達成率は98.0%にとどまったが、生産コストが削減され、ノリ養殖業が地域の基幹産業である当該地区の地域経済の活性化にも寄与した。	
(3) 所見	目標が達成されなかったが、ノリ養殖漁業の経営体質改善に当該整備が寄与し経営体質強化が図られた。		
(4) 評価機関への意見等	通常の栄養塩があれば目標値は達成できると考えられる。		
今後の改善方向等に関する分析		燃油の高騰や漁場環境悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから、より一層効率的な生産に努めながら、引き続き適切に活用していく。	

水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課	
政策目的		水産業経営の強化	
政策目標		資源増養殖目標	30-8
事業実施主体		元富水産ノリ養殖漁業協業体	
実施地区名		室津	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成30年度	令和3年度
交付金額		137,561,000円	
事業計画の内容		大型ノリ自動乾燥機2基 周辺機器1式 鉄骨造平屋建延468 m ²	
評価	成果目標	漁業所得の向上	
	現状値	(令和3年度末時点, 聞き取りによる)	36,538,932円
	目標値	(令和3年度)	42,280,000円
	(1) 現状値の説明	別紙のとおり、資材費など経費削減されたが、水温低下が遅く漁期が短くなったこともあり、ノリの生産金額が計画どおり伸びず、漁業所得が目標値に少し届かなかった。	
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	目標の達成率は86.4%にとどまったが、生産コストが削減され、ノリ養殖業が地域の基幹産業である当該地区の地域経済の活性化にも寄与した。	
(3) 所見	目標が達成されなかったが、ノリ養殖漁業の経営体質改善に当該整備が寄与し経営体質強化が図られた。		
(4) 評価機関への意見等	通常の栄養塩があれば目標値は達成できると考えられる。		
今後の改善方向等に関する分析		燃油の高騰や漁場環境悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから、より一層効率的な生産に努めながら、引き続き適切に活用していく。	

水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課	
政策目的		水産業経営の強化	
政策目標		資源増養殖目標	30-9
事業実施主体		山幸水産ノリ養殖漁業協業体	
実施地区名		室津	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成30年度	令和3年度
交付金額		40,500,000円	
事業計画の内容		大型ノリ自動乾燥機1基 周辺機器1式	
評価	成果目標	漁業所得の向上	
	現状値	(令和3年度末時点, 聞き取りによる) 9,550,632円	
	目標値	(令和3年度) 5,780,000円	
	(1) 現状値の説明	別紙のとおり、ノリ生産額について、計画時と現状値の比較を行った結果、大型ノリ自動乾燥機の導入により、導入前と比較し生産効率が向上し、生産力向上効果が発現している。	
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	大型ノリ自動乾燥機の導入により所得が165.2%の増となり、生産コストが削減され、ノリ養殖業が地域の基幹産業である当該地区の地域経済の活性化にも寄与した。	
	(3) 所見	目標が達成され、ノリ養殖漁業の経営体質改善が図られた。	
(4) 評価機関への意見等	成果目標を達成しており、適正に運営している。		
今後の改善方向等に関する分析		燃油高騰や漁場環境の悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから導入機器を活用し経営の効率化に努める。	

水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課	
政策目的		水産業経営の強化	
政策目標		資源増養殖目標	30-10
事業実施主体		北西水産ノリ養殖漁業協業体	
実施地区名		阿万	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成30年度	令和3年度
交付金額		32,713,000円	
事業計画の内容		ノリ高性能刈取船1隻	
評価	成果目標	漁業所得の向上	
	現状値	(令和3年度末時点, 聞き取りによる) 24,952,792円	
	目標値	(令和3年度) 17,971,548円	
	(1) 現状値の説明	別紙のとおり、ノリ生産額について、計画時と現状値の比較を行った結果、高性能ノリ刈取り船の導入により、導入前と比較し生産効率が向上し、生産力向上効果が発現している。	
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	高性能ノリ刈取り船の導入により所得が138.8%の増となり、生産コストが削減され、ノリ養殖業が地域の基幹産業である当該地区の地域経済の活性化にも寄与した。	
	(3) 所見	目標が達成され、ノリ養殖漁業の経営体質改善が図られた。	
(4) 評価機関への意見等	成果目標を達成しており、適正に運営している。		
今後の改善方向等に関する分析		燃油高騰や漁場環境の悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから導入機器を活用し経営の効率化に努める。	

水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課	
政策目的		水産業経営の強化	
政策目標		資源増殖目標	30-11
事業実施主体		漁潮水産ノリ養殖業協業体	
実施地区名		林崎	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成30年度	令和3年度
交付金額		32,250,000円	
事業計画の内容		大型ノリ自動乾燥機20連1基 付帯施設1式	
評価	成果目標	漁業所得の向上	
	現状値	(令和3年度末時点, 聞き取りによる)	38,364,941円
	目標値	(令和3年度)	28,053,864円
	(1) 現状値の説明	別紙のとおり R2年漁期は、生産金額が増加し、大型ノリ自動乾燥機の整備により燃料費及び修繕費が削減され、目標に対して137%となった。	
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	大型ノリ自動乾燥機の整備により所得が137%に増となり、燃料費及び修繕費が削減され、のり養殖業が基幹産業である当該地区の地域経済の活性化に寄与した。	
	(3) 所見	目標値に対して137%の達成率であり、事業の効果があつた。	
(4) 評価機関への意見等	成果目標を達成しており、施設を適切に運営している。		
今後の改善方向等に関する分析		燃油の高騰や漁場環境悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから、より一層効率的な生産に努めながら、引き続き適切に活用していく。	

水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課	
政策目的		水産業経営の強化	
政策目標		資源増殖目標	30-12
事業実施主体		中元水産ノリ養殖業協業体	
実施地区名		林崎	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成30年度	令和3年度
交付金額		34,500,000円	
事業計画の内容		大型ノリ自動乾燥機20連1基 付帯施設1式	
評価	成果目標	漁業所得の向上	
	現状値	(令和3年度末時点, 聞き取りによる)	47,052,614円
	目標値	(令和3年度)	33,039,572円
	(1) 現状値の説明	別紙のとおり R2年漁期は、生産金額が増加し、大型ノリ自動乾燥機の整備により燃料費及び修繕費が削減され、目標に対して142%となった。	
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	大型ノリ自動乾燥機の整備により所得が142%に増となり、燃料費及び修繕費が削減され、のり養殖業が基幹産業である当該地区の地域経済の活性化に寄与した。	
	(3) 所見	目標値に対して142%の達成率であり、事業の効果があつた。	
(4) 評価機関への意見等	成果目標を達成しており、施設を適切に運営している。		
今後の改善方向等に関する分析		燃油の高騰や漁場環境悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから、より一層効率的な生産に努めながら、引き続き適切に活用していく。	

水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課	
政策目的		水産業経営の強化	
政策目標		資源増殖目標	30-13
事業実施主体		針菊水産ノリ養殖業協業体	
実施地区名		林崎	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成30年度	令和3年度
交付金額		28,500,000円	
事業計画の内容		大型ノリ自動乾燥機16連1基 付帯施設1式	
評価	成果目標	漁業所得の向上	
	現状値	(令和3年度末時点, 聞き取りによる) 16,716,296円	
	目標値	(令和3年度) 18,099,149円	
	(1) 現状値の説明	別紙のとおり R2年漁期は、生産金額が増加し、大型ノリ自動乾燥機の整備により燃料費及び修繕費が削減されたがその他の経費が増加し、目標に対して92%となった。	
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	目標に対して現状値が92%にとどまったが、大型ノリ自動乾燥機の整備により燃料費及び修繕費が削減され、のり養殖業が基幹産業である当該地区の地域経済の活性化に寄与した。	
	(3) 所見	目標値に対して92%の達成率であり、今後、その他の経費の削減により成果目標の達成を図っていく。	
(4) 評価機関への意見等	今後、経費の節減により目標達成が見込まれる。		
今後の改善方向等に関する分析		燃油の高騰や漁場環境悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから、より一層効率的な生産に努めながら、引き続き適切に活用していく。	

水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課	
政策目的		水産業経営の強化	
政策目標		資源増殖目標	30-14
事業実施主体		山村水産ノリ養殖業協業体	
実施地区名		林崎	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成30年度	令和3年度
交付金額		39,000,000円	
事業計画の内容		大型ノリ自動乾燥機20連1基 付帯施設1式	
評価	成果目標	漁業所得の向上	
	現状値	(令和3年度末時点, 聞き取りによる) -7,784,452円	
	目標値	(令和3年度) 20,141,207円	
	(1) 現状値の説明	別紙のとおり R2年漁期は、生産金額が増加し、大型ノリ自動乾燥機の整備により燃料費及び修繕費が削減されたがその他の経費が増加し、所得がマイナスとなった。	
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	所得はマイナスとなったが、大型ノリ自動乾燥機の整備により燃料費及び修繕費が削減され、のり養殖業が基幹産業である当該地区の地域経済の活性化に寄与した。	
(3) 所見	今後、その他の経費の削減により成果目標の達成を図っていく。		
(4) 評価機関への意見等	今後、経費の節減により目標達成が見込まれる。		
今後の改善方向等に関する分析		燃油の高騰や漁場環境悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから、より一層効率的な生産に努めながら、引き続き適切に活用していく。	

水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課	
政策目的	水産業経営の強化		
政策目標	経営構造改善目標	30-1	
事業実施主体	相生漁業協同組合		
実施地区名	相生		
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度	
	平成30年度	令和3年度	
交付金額	15,930千円		
事業計画の内容	対象施設の概要(規模・能力) 洗浄機 2基 ベルトコンベア 2レーン(4基) H鋼杭(H-300×300 L=1~17m) 作業スペース床板(エキスパンドメタル) 洗浄物海中拡散防止金網		
評価	成果目標	受益カキ養殖漁業1経営体当たりの所得額向上	
	現状値	(令和3年度末時点)	2,890,542円
	目標値	(令和3年度)	2,854,320円
	(1)現状値の説明	受益カキ養殖漁業1経営体当たりの所得額は、R3目標値に対して36千円、H29年度現状値に対して222千円の増となった。	
	(2)地域への経済効果(ハード事業のみ)	受益カキ養殖漁業1経営体当たりの所得がR3目標値に対して36千円、H29年度現状値に対して222千円の増となり、施設整備による作業効率の改善で洗浄施設の稼働時間が短縮され、作業にかかる漁業者の労働時間が短縮された。	
	(3)所見	目標が達成され、受益カキ養殖漁業1経営体当たりの所得向上が図られた。	
(4)評価機関への意見等	成果目標を達成しており、施設を適正に運営している。		
今後の改善方向等に関する分析	整備した施設の劣化等に対応するため、継続的な保守管理が必要である。		

水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課	
政策目的		水産業経営の強化	
政策目標		経営構造改善目標	30-2
事業実施主体		五色町漁業協同組合	
実施地区名		鳥飼	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成30年度	令和3年度
交付金額		3,890,000円	
事業計画の内容		荷揚げ用クレーン3基	
評価	成果目標	漁業所得の向上	
	現状値	(令和3年度末時点)	1,776千円
	目標値	(令和3年度)	2,902千円
	(1) 現状値の説明	計画時と現状値の比較を行った結果、荷揚げ用クレーンの導入により労働改善効果は発現しており、養殖を早く始めるノリ養殖は計画時と同等程度の生産を行えたが、ノリに遅れて養殖を開始するワカメは栄養塩不足の影響を強く受け生産が計画時に比べ著しく悪く、所得はR3目標値の1,126千円、H29年度現状値の1,123千円減となり、目標値に及ばなかった。	
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	クレーンの導入により養殖漁業の作業の効率化が図られ、地域における漁業生産が維持された。	
	(3) 所見	藻類養殖に必要な海水中の栄養塩不足が著しく、R3年度末における現状値は、R3目標値の1,126千円、H29年度現状値の1,123千円減と、目標値に大きく及ばなかった。	
(4) 評価機関への意見等	通常の栄養塩があれば目標値は達成できると考えられる。		
今後の改善方向等に関する分析		栄養塩添加などの活動を通じた栄養塩不足の回避により、ノリ・ワカメの生産を維持しつつ、適切な施設利用による漁労所得の向上に努める。	